

令和3年度 農作物病虫害発生予察10月月報

令和3年(2021年)11月1日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
10.1	23.2	20.3	2.9	30.4	25.9	4.5	17.6	15.9	1.7
10.2	23.7	19.4	4.3	30.4	25.2	5.2	18.0	14.8	3.2
10.3	23.1	18.4	4.7	28.1	24.4	3.7	19.0	13.6	5.4
10.4	16.2	17.3	△ 1.1	22.1	23.5	△ 1.4	12.2	12.4	△ 0.2
10.5	13.2	16.2	△ 3.0	18.9	22.4	△ 3.5	8.8	11.3	△ 2.5
10.6	15.0	15.1	△ 0.1	22.8	21.2	1.6	8.9	10.1	△ 1.2
平均・計	19.1	17.8	1.3	25.5	23.8	1.7	14.1	13.0	1.1
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
10.1	0.0	22.1	△ 22.1	49.5	25.3	24.2			
10.2	0.0	16.2	△ 16.2	45.8	26.1	19.7			
10.3	2.0	14.0	△ 12.0	27.3	27.6	△ 0.3			
10.4	1.0	15.2	△ 14.2	24.7	28.5	△ 3.8			
10.5	4.0	15.1	△ 11.1	18.4	28.2	△ 9.8			
10.6	0.0	15.6	△ 15.6	45.5	33.0	12.5			
平均・計	7.0	98.2	△ 91.2	211.2	168.7	42.5			

II 作物の生育状況

- (1)カンキツ : 生育進度と気象による影響に違いがみられ、早生うんしゅうは着色が早く、低糖・低酸傾向。中生うんしゅう以降では糖度は回復傾向だが、着色の遅れが懸念される。また、せとみでは、裂果が目立つ。
- (2)キャベツ : 8月中旬以降の長雨によるほ場準備や定植作業の遅れ、定植後の少雨による生育停滞等により、出荷開始が例年に比べ遅れる見込み。
- (3)イチゴ : 主力品種の「かおり野」の開花はじめは10月中旬から下旬頃、出荷開始は11月中旬から下旬の見込みである。ただし、9月下旬から10月上旬にかけての高温により、一部生産者では1番果及び2番果の出蕾・開花が遅れている。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 果樹

2021年10月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平成96.4%)、発病果率42.8%(平成 55.4%)、発病度12.4(平成15.8)で平成 並みであった。	県内全域	多 57 中 172 少 862 計 1,091
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 10.5%(平成12.1%)、発病果率0.8% (平成0.9%)、発病度0.2(平成0.3)で平 年並みであった。	県内全域	少 115
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 10.5%(平成23.5%)、寄生葉率1.2% (平成3.4%)で平成並みであった。	県内全域	少 115
ミカンサビダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成1.5%)、被害果率0%(平成0.2%) で平成並みであった。	—	—
ナシマルカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 21.1%(平成21.8%)、寄生果率0.2% (平成0.9%)で平成並みであった。	県内全域	少 230
チャノキイロアザ ミウマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.3% (平成8.3%)、被害果率0.1%(平成 0.2%)で平成並みであった。	県内全域	少 57
ヤノネカイガラ ムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成1.1%)で平成並みであった。	—	—
イセリアカイガ ラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 10.5%(平成1.1%)で平成に比べ多かつ た。	県内全域	少 115
ミカンバエ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平成2.0%)で平成並みであった。	—	—
果樹全般 カメムシ類(チャ バネアオカメム シ、ツヤアオカメ ムシ、クサギカメ ムシ)	9月26日～10月25日の予察灯(5か所計) における誘殺数は108頭(平成199頭)で 平成並みであった。優占種はツヤアオ カメムシであった。	県内全域	—

2 野菜

キャベツ (調査ほ場数:中旬 12、下旬12) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年0.8%)、発病株率0%(平成0.0%)、 発病度0(平成0.0)で平成並みであつ た。 下旬の巡回調査では、発生は認められず 平成並みであった。	—	—
--------------------------------------	---	---	---

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では、発生は認められず 平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.8%)、発病株率0% (平年 0.0%)、発病度0 (平年0.0) で平年並 みであった。	—	—
萎黄病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認 められず平年並みであった。	—	—
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率91.7% (平年43.3%)、寄生株率16.5% (平 年2.6%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率83.3% (平年35.8%)、寄生株率12.0% (平年 1.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	多 43 中 72 少 43 計 158
コナガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年15.6%)、10株当たり虫数0.3頭 (平年0.1頭) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年18.3%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。	県内全域	少 115
オオタバコガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年23.0%)、寄生株率2.3% (平年 0.9%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率66.7% (平年20.8%)、寄生株率2.7% (平年 0.8%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 43 少 72 計 115
ハイマダラノメイ ガ	中旬の巡回調査では発生は認められ ず、平年並みであった。	—	—
ウワバ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年15.2%)、寄生株率2.2% (平年 0.9%) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年15.0%)、寄生株率2.0% (平年 0.5%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 14 少 72 計 86
モンシロチョウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率16.7% (平年12.9%)、10株当たり虫数0.1頭 (平年0.1頭) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年8.3%)、10株当たり虫数0頭 (平年0.0頭) で平年に比べやや少な かった。	県内全域	少 29

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ ヨトウガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年 5.9%)、寄生株率0% (平年 0.4%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.3%)、寄生株率0% (平年 0.1%) で平年並みであった。	—	—	
シロイチモジヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.7% (平年5.2%)、寄生株率2.0% (平年 0.2%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率8.3% (平年5.3%)、寄生株率0.7% (平年 0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少	43 29
			計	72
アブラムシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率50.0% (平年22.3%)、寄生株率2.3% (平年 2.2%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年25.9%)、寄生株率2.8% (平年 1.9%) で平年に比べやや多かった。 主要種はニセダイコンアブラムシで あった。	県内全域	少	87
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率30.0% (平年21.5%)、発病株率5.6% (平年 5.6%)、発病葉率3.0% (平年3.0%) で 平年に比べやや多かった。	県内全域	多 中 少	5 5 20
			計	30
炭そ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前 年5.0%)、発病株率0% (前年0.0%) で あった。	—	—	
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年4.0%)、発病株率1.2% (平年 0.3%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 少	5 15
			計	20
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率25.0% (平年28.0%)、寄生株率3.4% (平年 4.3%) で平年並みであった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少	25
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年11.9%)、寄生株率0.9% (平年 0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 少	10 5
			計	15
オオタバコガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年0.0%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平 年並みであった。	—	—	

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																					
イチゴ シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.0%) 寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—																					
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年25.5%)、寄生株率5.9% (平年6.9%) で平年並みであった。主要種はナミハダニであった。	県内全域	多 5 少 15 計 20																					
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年15.9%)、寄生株率1.8% (平年2.2%) で平年並みであった。	県内全域	中 5																					
アザミウマ類 (調査ほ場数：11)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年7.2%)、寄生花率1.1% (平年0.4%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	多 5 少 10 計 15																					
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる10月の誘殺数は、57頭(平年117頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																					
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる10月の誘殺数は、975頭(平年2,141頭)で平年に比べ少なかった。県内他地点の誘殺数は下記のとおり。 フェロモントラップでの誘殺数(頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年</th> <th>平年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>周南市熊毛</td> <td>15</td> <td>2,719</td> </tr> <tr> <td>山口市阿東</td> <td>431</td> <td>523</td> </tr> <tr> <td>萩市明木</td> <td>79</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>下関市清末</td> <td>1,416</td> <td>1,727</td> </tr> <tr> <td>柳井市伊陸</td> <td>988</td> <td>1,587</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※9月21日～10月20日の合計</td> </tr> </tbody> </table>	地点	本年	平年	周南市熊毛	15	2,719	山口市阿東	431	523	萩市明木	79	154	下関市清末	1,416	1,727	柳井市伊陸	988	1,587	※9月21日～10月20日の合計			県内全域	—
地点	本年	平年																						
周南市熊毛	15	2,719																						
山口市阿東	431	523																						
萩市明木	79	154																						
下関市清末	1,416	1,727																						
柳井市伊陸	988	1,587																						
※9月21日～10月20日の合計																								
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる10月の誘殺数は、117頭(平年112頭)で平年並みであった。	県内全域	—																					
シロイチモジヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる10月の誘殺数は、5頭(平年17頭)で平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																					
コナガ	山口市大内のフェロモントラップによる10月の誘殺数は、77頭(平年35.4頭)で平年に比べ多かった。	県内全域	—																					

お問い合わせ先 山口市病害虫防除所
TEL (083)927-4006